

SCAT



2025 年 12 月 12 日

各 位

会 社 名 : **SCAT 株式会社**
代 表 者 : 代表取締役 社長 長島 秀夫
(コード: 3974 東証スタンダード市場、名証メイン市場)
問 合 せ 先 : 取締役 執行役員 高橋 栄
(TEL : 03-6275-1130)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について (アップデート)

当社は、2025 年 12 月 12 日開催の当社取締役会において、2023 年 12 月 14 日公表の「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ」に関して、現状の分析・評価、及び改善に向けた取り組み方針についてアップデートいたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 現状評価

当社グループは、2024 年 10 月期から 2026 年 10 月期までの中期経営計画に基づき、コア事業を中心とした成長戦略として既存事業の構造改革（成長と深化）と、新しいサービスと事業の創出を実践することで、事業の成長と安定した収益の確保に努めております。

2025 年 10 月期は、成長の基盤となる商品開発投資や人材育成投資を実施しつつ、配当金の増額、及び株式の無償割当て、並びに名古屋証券取引所メイン市場への重複上場記念優待の実施など株主還元の拡大と株価を意識した施策を実施いたしました。

当社グループの直近 3 期の経営指標の推移は以下のとおりです。

	2023 年 10 月期	2024 年 10 月期	2025 年 10 月期
連結売上高 (百万円)	2,742	2,594	2,605
経常利益 (百万円)	230	156	197
当期純利益 (百万円)	157	100	125
純 資 産 (百万円)	1,844	1,946	2,038
B P S (円)	668.18	686.19	650.74
E P S (円)	52.79	35.87	43.76
自己資本比率 (%)	62.0	66.2	67.2

	2023 年 10 月期	2024 年 10 月期	2025 年 10 月期
R O E (%)	7.9	5.3	6.3
期末日株価 (円)	469	388	505
P B R (倍)	0.70	0.57	0.78
8 月-10 月平均株価 (円)	517.13	416.16	558.29
P B R (倍)	0.77	0.61	0.86

注) BPS : 1 株当たり純資産、EPS : 1 株当たり純利益、ROE : 自己資本利益率、PBR : 株価純資産倍率
(参考) 株主数

	2023 年 10 月期	2024 年 10 月期	2025 年 10 月期
期 末 株 主 総 数	4,948 名	3,587 名	6,601 名
議決権を有する株主数	4,562 名	2,852 名	5,496 名

(1) 資本収益性

当社グループの株主資本コストは、CAPMで自社算定すると概ね 3.1%~5.8%のレンジにあると推計しております。当社の ROE は株主資本コストを上回る水準で推移しており、2024 年 10 月期では業績の低下により株主資本コストと同水準の低下傾向 (ROE 5.3%) にありましたが、2025 年 10 月期では、ROE 6.3%と改善を図ることができました。

(2) 市場評価

当社の PBR は、2025 年 10 月期の期末 3 ヶ月平均株価では 0.86 倍と前年度より 0.25 ポイント改善いたしました。1 倍を下回る水準で推移しております。好業績時においても、株価は割安で推移していることから、当社の時価総額が小さく株式の流動性が低いこと、並びに当社の将来に向けた成長性が評価されていないこと等の課題を認識しております。

2. 改善に向けた方針、目標、及び取り組み (2025 年 10 月期の実施状況を含む)

(1) 方針及び目標

当社は、2023 年 12 月 14 日に公表いたしました中期経営計画 (2024 年 10 月期から 2026 年 10 月期) に基づき、資本収益性及び市場評価の改善に取り組み、企業価値の向上を目指してまいります。

(2) 改善に向けた取り組みの実施状況 (2025 年 10 月期)

① 主力事業の回復

当社の主力事業である美容 ICT 事業において、前事業年度 (2024 年 10 月期) では大型キャンセル等の事案が発生し損益に影響がありましたが、当事業年度 (2025 年 10 月期) では、経済産業省より DX 認定事業者、IT 導入支援事業者認定され、提供する製品やコンテンツサービスが IT 導入補助金の対象となり、さらに、既存ユーザーの一部には、本年 10 月までの Windows10 の保守終了に伴う機器の入替え需要など引き合いが増え、順調に回復し、当初見通しを超えた利益を確保いたしました。

しかし、2025 年 10 月 14 日公表の「2025 年 10 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、介護サービス事業において高齢入居者の老衰等によるご逝去が重なり事業損益に影響がありました。

② 5期連続増配

2025年10月期は、前事業年度より年間配当額の1円増配を予定しており、5期連続の増配を実施いたします。

(中間配当7円、期末配当7円により年間配当1株あたり14円)

また、④の株式無償割当ての実施に伴い、期末配当は実質的に1割の増配となります。

③ 記念優待の実施

2025年7月8日公表の「名古屋証券取引所メイン市場への重複上場記念株主優待実施に関するお知らせ」のとおり、当社株主構成の大部分を占める個人投資家様に向けて、認知度の向上、並びに継続的な対話の機会の拡充を図ることを目的に、名古屋証券取引所メイン市場への重複上場の承認をいただきました。これを記念して、また、株主の皆様への日頃のご支援に感謝の意を込めて、株主優待を実施することといたしました。

④ 自己株式の活用による株式の無償割当ての実施

2025年8月25日公表の「株式の無償割当てに関するお知らせ」のとおり、当社の自己株式の保有状況（公表日現在当社発行済株式の41.7%）への対処は課題の一つでした。

この自己株式を有効活用して株主の皆様への直接還元と流通株式数の確保を目的に、2025年9月30日を基準日として普通株式1株につき普通株式0.1株の割合をもって無償割当てを実施いたしました。

これにより、株主の皆様に対して実質的に1割の増配となりました。

さらに、当社の自己株式の保有状況は35.9%と5.8ポイント減少し、株式の流動性向上に寄与いたしました。

(3) 改善に向けた今後の取り組み

① 業績の回復と成長

- ・システム販売（物販）の変動リスクを軽減し、コンテンツや保守等によるストック型収益の積み上げを加速させ、ストック重視の収益構造への改革を推進
- ・介護施設の入居稼働率の回復

② 成長戦略の実行（成長と深化）

- ・営業リソースの拡充やDXを活用した効率化推進による収益力強化
- ・基幹システム刷新に伴う業務プロセス改善及びICT促進による最適化

③ 成長投資：経営資源配分計画の実行

- ・財務効率の向上、非事業用資産の売却等を含む資産の効率化及び有効活用
- ・総合的に勘案した資本政策の検討
- ・人財活用を含む人的資本投資の強化

④ 株主還元：安定配当を基本とした継続的な株主還元の実施

⑤ IR活動の充実（英文開示を含む）

⑥ ESG経営：環境・社会への貢献、ガバナンス体制の適正維持

以 上